

MFJ 事業のご案内

モーターサイクルスポーツの普及・発展のために



はじめに



一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

会長 鈴木 哲夫

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）は、日本国内のモーターサイクルスポーツを統括する機関として1961年（昭和36年）に設立され、国際モーターサイクリズム連盟（FIM）に加盟する唯一の日本代表機関です。モーターサイクルスポーツの普及・振興を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とし、様々な事業を展開しています。

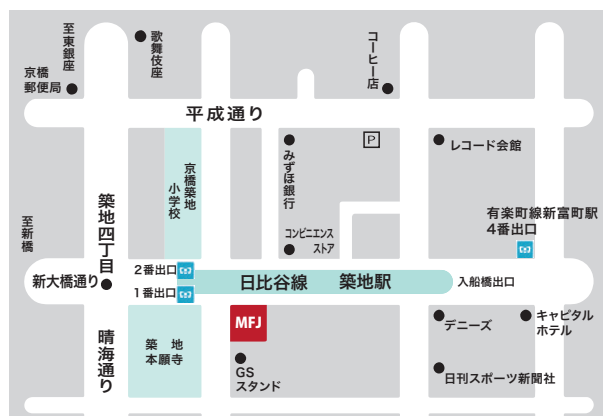
世界選手権や全日本選手権等を頂点とする「競技スポーツ」としてのレース振興はもとより、男女問わず幅広い年齢層に受け入れられる「生涯スポーツ」としての普及を目指しており、一人でも多くの方にモーターサイクルスポーツを楽しんでいただける環境を作っていききたいと思います。

「スポーツ」を通じ人々に「生きがい」や「夢」を与える重要な役割を担うため選手の育成、安全対策、より参加し易い競技会作り等、関係各位と連携し全力を上げて取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、当協会の活動にご理解とご協力を賜りたく、MFJ事業のあらましをご案内させていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

MFJ 概要

- 名 称 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
英文表記 Motorcycle Federation of Japan(MFJ)
- 所在地 〒104-0045
東京都中央区築地3丁目11番6号築地スクエアビル10階
TEL:03-5565-0900 FAX:03-5565-0907
Email:mfj@mfj.or.jp
- 設 立 1961年（昭和36年）10月
- W E B <https://www.mfj.or.jp>



目的と主な事業概要

「この法人は我が国におけるモーターサイクルスポーツ界を統括し、代表する団体としてモーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。」

1. モーターサイクルスポーツの普及指導

- 1) 全国各地で行われる各種競技会・講習会、セミナー、スクール、体験走行会、その他行事に対する指導及び支援。
- 2) 地方組織及び主催団体等に対する指導及び支援。
- 3) 各種競技会、競技参加者の拡充のための規則制定及び競技規則の製作。
- 4) 国際格式の競技役員資格取得セミナーの開催及び FIM（国際モーターサイクリズム連盟）セミナーへの派遣。
- 5) 選手育成スクール「ロードレースアカデミー」等の開校。
- 6) 一般オートバイユーザーが参加可能なツーリングイベント開催によるモーターサイクルスポーツの裾野拡大。

2. 競技会の開催及び公認・承認

- 1) 世界選手権、日本グランプリ及び MFJ グランプリ大会（ロードレース、モトクロス等）及び全日本選手権大会・特別競技会の開催。
- 2) 全日本選手権大会をはじめ、各種競技会の公認・承認。
- 3) ライセンス講習会、スクール及び競技役員講習会の公認。

3. 競技用サーキット及び競技用施設の公認

競技用サーキット及び競技用施設は、競技を開催する前に各専門委員会により査察を行い、その審査による公認制度が適用されています。

4. 競技用品（車両・部品・ヘルメット・タイヤ・装備用品）等の公認

競技中にライダーが使用及び着用する車両、部品及び用品類は、安全と公平を保つため、専門委員会での審査による公認制度が適用されています。公認された競技用品は、MFJ 公認マークが貼付されます。

5. 国際事業

- 1) FIM（国際モーターサイクリズム連盟）及び FIM ASIA（アジア協会）への加盟と催事への参画及び協力（FIM 総会、各委員会への協力、世界選手権大会への派遣、他）。
- 2) 世界国別対抗選手権への日本選手・役員の派遣。
- 3) FIM ASIA を通じたアジア諸国との協力。
- 4) 海外ライセンスの発給。



6. 競技参加者等の資格の付与

- 1) 各種ライセンスの発給及び登録管理。
- 2) 各選手権シリーズポイントの公認及び管理。
- 3) 全日本選手権シリーズランキングによる表彰。

ライセンス区分

各競技会に参加するための競技ライセンスは、競技種目と技量別によって区分されています。

■競技種目別のライセンス区分

★ロードレース ★モトクロス ★トライアル ★スノーモバイル ★エンデューロ
★スーパーモト ★上記の競技用ライセンスの他、「ビットクルー」「エンジョイ」「競技役員」「講師」の各ライセンスを MFJ が発行しています。

(2023年1月現在)

7. 広報活動・情報管理

MFJ では、各種メディアを通じて情報を発信し、広報活動を行っています。主要レースのテレビ放映・動画配信・公式結果などをオフィシャルホームページ等で広く関係者へ情報を配信しています。国内競技規則 WEB 製作から、各種講習会やスクールで使用するテキスト類も製作しています。

■ MFJ オフィシャルホームページ <https://www.mfj.or.jp>



MOTORCYCLE SPORTS MFJが普及・振興しているモーターサイクルスポーツ

モーターサイクルスポーツは、一般的にオートバイという道具を使用することからマシンの性能によって勝敗が左右される競技と考えられる方が多いと思いますが、実際にはマシンについては厳しく公平性を保つルールが定められており、競技者（ライダー）のテクニック・体力・メンタルタフネスや戦略性がウエイトを占める競技です。そして、その魅力は何とんでも究極のスピードの中で繰り広げられるマシンの操作技術、鍛え研ぎ澄まされた集中力から生まれるバランスです。モーターサイクルスポーツを楽しむ競技者は、何ともいえない緊張感や、爽快感、達成感を強く覚えるといいます。また、観戦者もそのスリリングな競技展開や躍動感に感動し、各大会会場には多数のファンに会場にいらしています。現在、MFJで手がけている種目は下記の通りです。各種イベントレースやライセンス講習会、スキルアップ講習会にも積極的に取り組んでいます。

ROADRACE

ロードレース



完全舗装の専用周回コース(サーキット)で競われるスピード競技です。大きく分けて短い時間と距離で競われるスプリントレースと長い時間で競う耐久レースに分けられ、使用するオートバイの排気量や改造区分等でそのクラスは多岐にわたります。スプリントでは決められた周回数を誰が一番早く走り切るか、耐久では決められた時間に誰が一番多く周回を重ねるかで順位を決定します。排気量50ccから1000ccまで幅広く、中には最新技術を搭載した300km/hを超えるオートバイを使用したり、旧車を使用する競技などもあり、最もポピュラーなモーターサイクルスポーツといえます。

MOTOCROSS

モトクロス



モトクロスの語源はオートバイによるクロスカントリーからきています。オフロード（非舗装）周回コースで行われるスピード競技で、競技方法はロードレースとほぼ同様となり、クロスカントリーのようにコースにはいくつかの急勾配や大小のジャンプが設けられており、ダイナミックに飛び越えるその走りは若者を中心に人気を博しています。近年では小学生・中学生といった年少者の競技者も多く、家族で楽しんでいる方や女性の競技参加者も増えています。競技用の車両排気量は多岐にわたり体力、技量で使用車両を選択できます。

TRIAL

トライアル



ロードレース、モトクロスといったスピード競技と異なりバランスを競い合います。山、沢、岩場といった自然の地形を利用し、セクションと呼ばれる採点区間を幾つか設け、いかにそこを足を着かずに走破するか、オートバイの操縦技術が試されます。足を着くと減点が科せられ、減点数が少ないものから順位がつきます。

人間の足でも容易に登ることのできない大きな岩や、急斜面もオートバイと人間が一体化することで可能になります。採点区間の難易度を調整することにより、年少者・女性から年輩の方まで幅広く支持されている競技です。

ENDURO

エンデューロ



全長数十キロに及ぶ自然豊かなオフロードコースを使い、ライダーの体力とマシンの耐久性の限界に挑戦する種目です。全日本選手権では、コースの途中にテストと呼ばれる区間を設け、難所を切り抜けて時間通りに周回する「オンタイム規則」が適用され、ゴールした後の達成感、満足感を得られます。

また、世界最高峰の大会「国際6日間エンデューロ ISDE」も同一規則で開催され、トロフィーチーム（日本代表）が派遣されることもあります。コースはクローズドエリアだけでなく、一般公道が含まれることもあり、老若男女問わず、オフロードが楽しめるのが魅力です。

SUPERMOTO

スーパーモト



オンロードとオフロードを融合したコースで行われるスピード競技です。

オフロード車に小径のオンロードタイヤを装着したマシンで、舗装路面と未舗装路面の複合コースを周回するトータルな技術が要求されます。マシンをスライド（ドリフト）させながらコーナーを曲がる派手なアクションも人気です。

SNOWMOBILE

スノーモビル



スノーモビルという雪上車で行われるスピード競技です。競技方法が似ているところから、よく雪上のモトクロスと表現され、ウィンターモータースポーツとして人気を博しています。

MOTOGYMKANA

モトジムカーナ

フラットな舗装路上にパイロンで設定されたコースをルート通りに走ってタイムを競う競技です。大会では1台ずつスタートし8の字やスラロームを攻略しながらゴールを目指します。使用される車両の排気量は様々で、初心者からベテランまで技量に応じたクラスに参加できます。



TOURING

ツーリング

モーターサイクルスポーツの裾野を広げるため一般のオートバイライダーが参加できるラリー形式を取り入れたツーリングイベントなどに積極的に取り組んでいます。



LICENSE

ライセンススクール & 講習会

初めてライセンスを取得する方や年少者を対象に、またスキルアップした方向けに開催しています。全国各地で開催される講習会、またはWEB講習会でレースの基礎知識や競技マナー、マシンの操作技術を学びます。また、万一、負傷者が発生した際に迅速に救護活動を行うためのレスキュー講習会等も実施しています。



PROMOTION

普及事業

次世代を担う年少者及び女性ライダーを育成するレーシングスクールでは、ライディングテクニックはもとより、モーターサイクルスポーツを通じて社会性や向上心、自立心の育成を図ります。合宿などの共同生活を行うことで規律や助け合いの精神を育み、心身の育成を促すことを目的としています。また、年少者と保護者が一緒にバイクに気軽に親しんでいただけるような体験プログラムを実施しています。



MFJ ライセンス

MFJが発給している「MFJ 会員ライセンス」は、日本国内で行われるモーターサイクルレースに参加する選手向けの「競技ライセンス」と、競技会を安全・円滑に進行、公平にジャッジするための競技役員や指導育成を行う講師のための「競技役員・講師ライセンス」に大別されます。

またミニバイクレースや初心者向けモトクロス・トライアル、街乗りバイクでサーキットイベント等のレクリエーションイベント（MFJ 承認競技会）に参加できる「エンジョイライセンス」を設定し、オートバイ愛好家の方々に幅広い分野のモーターサイクルスポーツを楽しんでいただいています。

ロードレース	ジュニア	12歳～15歳の方
	フレッシュマン	16歳以上の方
	国内	フレッシュマンライセンスからのステップアップ(中級)
	国際	世界選手権・全日本選手権等に参加できるライセンス(最上級)
モトクロス トライアル	PCライセンス (モトクロスのみ)	8歳までの親子で取得するライセンス
	ジュニア	9歳～15歳の方
	国内B級	16歳以上の方(初級)
	国内A級	国内B級からのステップアップ(中級クラス)
	国際B級	全日本選手権に参加できるライセンス(上級)
	国際A級	世界選手権・全日本選手権等に参加できるライセンス(最上級)
スノーモビル	ジュニア	9歳～15歳の方
	B級	16歳以上の方(初中級)、全日本選手権に参加可能
	A級	B級からのステップアップ、全日本選手権上級クラスに参加可能
エンデューロ	国内B級	16歳以上の方
	国内A級	国内B級からのステップアップ
	国際B級	国内A級からのステップアップ
	国際A級	最上級ライセンス
スーパーモト	B級	12歳以上の方の初中級 MFJ 公認競技会(地方選手権)に参加可能
	A級	B級からのステップアップ 全日本選手権に参加可能
ピットクルー	ピットクルー	16歳以上で参加選手をサポートするメカニック・ヘルパー用のライセンス
エンジョイ会員		昇格に関係なく手軽に参加できる競技会やイベントに参加可能
競技役員・講師		18歳以上で競技運営や指導育成に携わるためのライセンス (競技役員・講師とも種目別、1・2・3級の等級があり、実務ポイントや実績により上級の昇格制度がある)

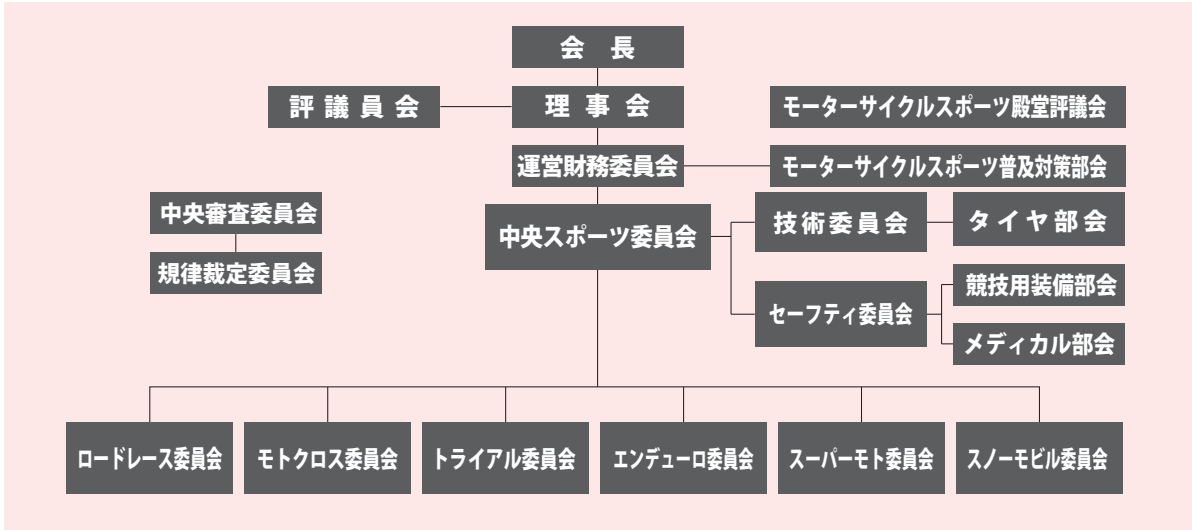
(2023年1月現在)

組織

MFJ は中央組織・地方組織・会員組織の3つの組織から成り立っています。

MFJ 中央組織（スポーツ委員会・部会）

全国的なスポーツ行政の方針決定は下記委員会組織で行います。



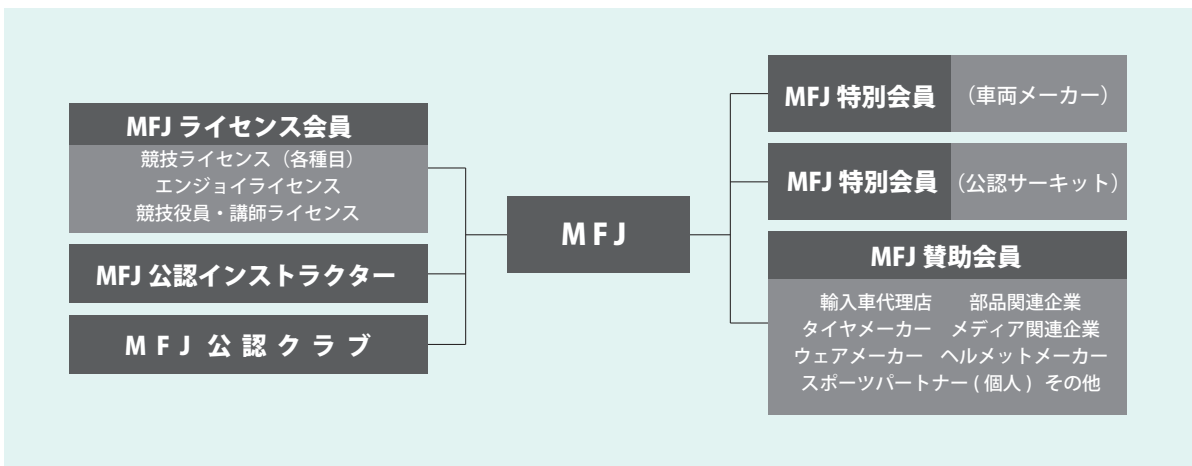
地方組織

全国 8 地区にモーターサイクルスポーツを管理・運営する地区種目別専門部会を設置し、MFJ 広域事務局と連携して支援しています。



会員組織

ライセンス会員はもとより、企業やクラブとしてモーターサイクルスポーツを支援・協力してくださる方も MFJ の会員です。





www.mfj.or.jp

Motorcycle Federation of Japan

- ROADRACE
- MOTOCROSS
- TRIAL
- ENDURO
- SUPERMOTO
- SNOWMOBILE
- LICENSE
- PROMOTION
- MOTOGYMKAHNA
- TOURING

